

TGR TEAM ZENT CERUMO

2020 AUTOBACS SUPER GT Report

FUJIMAKI GROUP MOTEGI GT 300km RACE

第4戦 ツインリンクもてぎ

ZENT GR Supra

#38 立川祐路／石浦宏明

◆9月12日（土） QUALIFY

公式予選結果 ポールポジション

第2戦は速さがともなわず、トップ争いを展開した第3戦はマシントラブル。開幕戦こそ4位だったものの、ここまで満足いく成績が残せていない TGR TEAM ZENT CERUMO にとって、ツインリンクもてぎで行われる第4戦は、是が非でも結果を残したいレース。チームは第3戦でのトラブルの原因を究明し、準備を万端に整えツインリンクもてぎに乗り込んだ。



ただ、迎えた9月12日（土）の公式予選日は、朝から曇り空。前日の搬入日も激しい雷雨が降っており、天候は間違いなく不順と言えた。実際に午前10時からスタートした公式練習でも、立川祐路が乗り込んだ ZENT GR Supra がコースインした直後、サーキットには細かい雨粒が降り注ぎ、すぐに路面はウェットコンディションに変化してしまった。

立川はすぐにピットインし、ウェットタイヤに交換するとふたたびコースイン。ただ、その霧雨が今度はすぐに止んでしまい、ふたたび路面がドライに転じていった。午後の予選はウェットなのか、そして翌日の決勝はウェットなのかドライなのかも分からない状況だが、ZENT GR Supra は変わりゆくコンディションのなかセットアップを確認していった。第3戦鈴鹿から得ていたフィー

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
RACING

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

JMS

T-SELECT

トヨタ東自大

BBS

SHIMWA
BRAKE FLUID

MOTUL
MULTIGRADE OIL

TGR TEAM ZENT CERUMO

リングの良さは、変わらず続いている。



途中赤旗中断をはさみながら、ピットアウト～インを繰り返しつつ周回を重ねた立川は、24 周を終えピットに ZENT GR Supra を戻すと、石浦宏明に交代。計測 3 周と多くの周回をこなせなかった石浦だが、乾きははじめた状況で、1 分 38 秒 566 というベストタイムをマーク。8 番手で走行を終えた。ライバルメーカーのタイヤを装着するマシンが速いが、これもコンディション次第だ。

インターバルをはさみ、午後 2 時 30 分にスタートした公式予選のコンディションは曇り。ただ、周辺の雲から非常に細かい雨粒が流れているような状況で、スリッピーな状況なのは間違いなかった。GT500 クラスの Q1 に先立ち行われた GT300 クラスの Q1 でもわずかに雨粒が舞い、通常 GT500 ではコンディションの良化を待つ Q1 でも、石浦がステアリングを握った ZENT GR Supra は開始とともにコースイン。ウォームアップに入っていた。

石浦は 3 周目、1 分 42 秒 021 をマークし、まずはタイミグモニターのトップに躍り出る。ライバルも大きくタイムを上げてくるが、翌周石浦はさらに 1 分 39 秒 588 までタイムを上げ、ふたたびトップを取り戻した。しかし、その後続々とライバルがタイムアップ。石浦の順位は、10 番手まで落ちてしまった。

ただ、Q1 のチェッカー直前、90 度コーナーでコースアウトした #16 NSX-GT の車両回収のため黄旗二本振動が提示されており、石浦は慎重に減速したものの、その最中にタイムアップした 3 台のベストタイムが抹消となったため、ZENT GR Supra は 8 番手で Q2 進出を果たすことになった。



ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
RACING

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

Jms

T-SELECT

トヨタ東大

BBS

SHIMWA
BRAKE FLUID

M
MULTIGRADE OIL

TGR TEAM ZENT CERUMO

GT300 クラスの Q2 をはさみ、午後 3 時 49 分にスタートした GT500 クラスの Q2。ZENT GR Supra に乗り込んだ立川祐路はコースオープンとともにウォームアップを行っていくが、GT300 クラスの Q2 の最中からわずかに雨が降り始めており、非常に路面はスリッピーな状況となっていた。他の 7 台は、アウトラップの時点ですぐにピットに戻りタイヤ交換を行ったが、今回ピット位置が最も 1 コーナー寄り、Q2 出走車両のなかでいちばん早く最終コーナーに差しかかっていた立川からの伝達が間に合わず、1 周余分に周回してピットに戻り、ウェットタイヤに交換した。



TGR TEAM ZENT CERUMO は、迅速にタイヤ交換を行い立川を送り出すが、滑りやすいコンディション、そして逆境のなかでこそ活きるのが立川の技だ。素早くタイヤを温めアタックを敢行すると、なんと一気に 1 分 43 秒 878 へタイムアップ！ アタック中に #19 GR Supra と接触してしまうシーンもあったが、黒白旗の警告のみでタイムは抹消されず。これで ZENT GR Supra がついにポールポジションを獲得！ 立川は通算 24 回目のポール記録を更新することになった。

決勝日の天候はまだ予断を許さないが、ポールポジションという位置は誰よりも有利にレースを展開できる位置なのは間違いない。TGR TEAM ZENT CERUMO にとって、リベンジの舞台は整った。

ドライバー／立川祐路

「正直、ここまでの 3 戦は苦しい戦いが続いてきました。悪い流れの中にいましたが、第 3 戦ではクルマのフィーリングはいいものがあったので、今回はどんな状況でも勝つつもりでいました。今日に関して言えば、午前は違うタイヤメーカーのライバルに対して厳しい状況を感じており、まだ悪い流れが続いているかと思いましたが、公式予選で雨が降り、状態が良かったウェットタイヤを使う状況にきたので、やっと流れが来たな、と感じています。この良い流れ



TGR TEAM ZENT CERUMO

をしっかり掴んで、明日は結果まで繋げられるように頑張りたいと思います」

ドライバー／石浦宏明

「午前中はあまり周回をこなせませんでした。走り出しからウエットかドライか中途半端な状況が多く、その状態は僕たちのクルマにはあまり合っていないフィーリングでした。実際、公式予選 Q1 でも通過できるか不安な部分があり、目一杯いくしかないかと切り替えて臨みましたが、結果的にタイム抹消があったため Q2 に繋ぐことはできましたが、個人的にはタイムとしては 10 番手だったので、悔しい部分がありました。とはいえ、しっかりバトンを繋ぐことができ、Q2 で立川選手がウエットタイヤを使う状況になったのは自分たちに追い風が吹いた状況だったので、この結果を明日に繋げられるよう、ベストな走りをしたいと思います」

村田淳一監督

「公式予選 Q1 ではコンディションもあり、少しバタバタしてしまいました。ライバルのタイム抹消による繰り上げがなければ Q1 脱落ですからね。そこからなんとか Q2 に進出しましたが、そこでもウエットタイヤに交換するタイミングもミスとは言えないかもしれませんが、ミスに近い部分もありました。しかしそんな状況の中、立川選手が一発のタイムを出してポールポジションを獲得してくれたので、ドライバーの力のおかげだと思っています。立川選手はさまざまなテストをこなしているの、引き出しが多い。それが発揮された結果だと思っていますので、ポールポジション記録更新は純粋に嬉しいです。しかし、大事なのは決勝レース。最終的に優勝しなければ意味がないポジションです。明日は雨の予報もありますが、まずはスタートを決め、しっかりレースを終え、良い結果を持ち帰りたいと思っています」



TGR TEAM ZENT CERUMO

公式予選結果

Rank	Car No.	CarName	Q2 Time	Q1 Time
1	38	ZENT GR Supra	1'43.878	1'39.191
2	17	KEIHIN NSX-GT	1'44.079	1'38.192
3	8	ARTA NSX-GT	1'45.153	1'39.015
4	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	1'45.692	1'38.682
5	64	Modulo NSX-GT	1'46.569	1'37.598
6	100	RAYBRIG NSX-GT	1'46.944	1'38.209
7	16	MOTUL MUGEN NSX GT	1'48.584	1'38.240
8	19	WedsSport ADVAN GR Supra	1'49.624	1'37.499
9	14	WAKO'S 4CR GR Supra		1'39.481
10	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R		1'39.620
11	23	MOTUL AUTECH GT-R		1'39.695
12	12	CALSONIC IMPUL GT-R		1'39.785
13	37	KeePer TOM'S GR Supra		1'40.086
14	36	au TOM'S GR Supra		1'40.106
15	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R		1'43.366

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

JMS

T-SELECT

トヨタ東自大

BBS

SHIMADA
BRAKE FLUID

MOTUL
RACING WEAR